

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市中央地区防犯協会補助金	開始 年 度	平成元年度
団 体 名	函館市中央地区防犯協会	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則，防犯協会補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市中央地区防犯協会に対する運営費補助
目 的	(目 的) 犯罪のない明るい社会を目指し，地域の犯罪を防止する各種啓発活動を展開している団体であり，その役割は大きく，その活動のより一層の推進を図る。
・ 効 果	(効 果) 各種犯罪の予防，青少年の非行防止および犯罪防止思想の普及に効果をあげることができる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		分担金	賛助金	雑収入	繰越金	計
		市	その他					
収 入	R 4 (決算)	620 [620]	0 []	1,521 [1,521]	446 [424]	10 [10]	46 [46]	2,643 [2,621]
	R5 (決算)	620 [620]	0 []	1,508 [1,508]	615 [576]	19 [19]	46 [46]	2,808 [2,769]
	R6 (決算)	620 [620]	0 []	1,606 [1,606]	577 [569]	22 [22]	46 [46]	2,871 [2,863]
	R7 (決算)	620 [620]	0 []	1,616 [1,616]	505 [500]	18 [18]	45 [45]	2,804 [2,799]
	R8 (予算)	620 [620]	0 []	1,598 [1,598]	650 [636]	7 [7]	45 [45]	2,920 [2,906]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	交際費	予備費	計
	R 4 (決算)	900 [900]	384 [379]	646 [634]	662 [662]	5 []	0 []	2,597 [2,575]
	R5 (決算)	926 [926]	324 [304]	842 [835]	658 [658]	12 []	0 []	2,762 [2,723]
	R6 (決算)	1,427 [1,427]	220 [220]	387 [387]	783 [783]	8 []	0 []	2,825 [2,817]
	R7 (決算)	1,427 [1,427]	158 [158]	411 [411]	757 [757]	5 []	0 []	2,758 [2,753]
	R8 (予算)	1,426 [1,426]	210 [210]	515 [515]	755 [755]	10 []	4 []	2,920 [2,906]

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市中央地区防犯協会補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に 貢献 する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒	☐	犯罪のない明るい社会を目指し，犯罪の予防，少年の非行防止等の地域を基盤とした各種防犯活動を展開している。 近年，市内の犯罪認知件数は増加傾向にあり，児童への声かけ事業や，車上狙い等の街頭犯罪など，身近な場所で発生する犯罪が依然として多発しているとともに，高齢者の特殊詐欺被害，SNS型投資詐欺，女性や子どもを狙った事件などが増加し，市民生活に不安が広がっている。 このような中，地域の安全を確保する活動を積極的に推進しており，その役割は重要である。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	少額の予算で各種防犯活動を行っており，補助事業を廃止した場合，事業の削減など活動の停滞を招く。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	人口が減少する中，各町会からの分担金や，企業や個人からの賛助金の確保により，増収を図っている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが，施策目的実現に最適か）	☒	☐	地域の安全を確保するための自主的な防犯活動を推進している団体であり，その活動のための補助金が適当である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は，前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は，補助対象経費の1／2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	町会の分担金および賛助会員の賛助金が主な自主財源となっているが，町会員や賛助会員の人数（件数）によって増減している。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市中央地区防犯協会補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)
各種パトロールおよび地域の犯罪を防止する啓発活動の実施状況
(参考) 函館中央警察署管内犯罪認知件数 令和7年 1, 138件 令和6年 1, 077件
(達成状況)
【令和7年度実績】 ・防犯パトロールの実施(通年) ・自主防犯パトロール団体の結成の促進(通年 対象:町会等) ・特殊詐欺被害防止にかかる街頭啓発および防犯講話の実施(通年 対象:町会等) ・不審者対応訓練の実施(通年 対象:学校等)



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	事業効果を数値で測ることは困難であるが、広報、啓発等の有意義な事業を展開している。
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 犯罪防止は、地域住民の協力のもとに防犯活動を展開することが不可欠であり、今後も団体の目的達成および育成強化のために、継続して助成する。なお、多額の被害が発生している特殊詐欺被害防止のためのより一層の活動推進を図る必要がある。 (見直しの時期)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(廃止の理由) (廃止の時期)	
(その他の内容)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和10年度	☒ 終期到来時に再検討	令和10年度